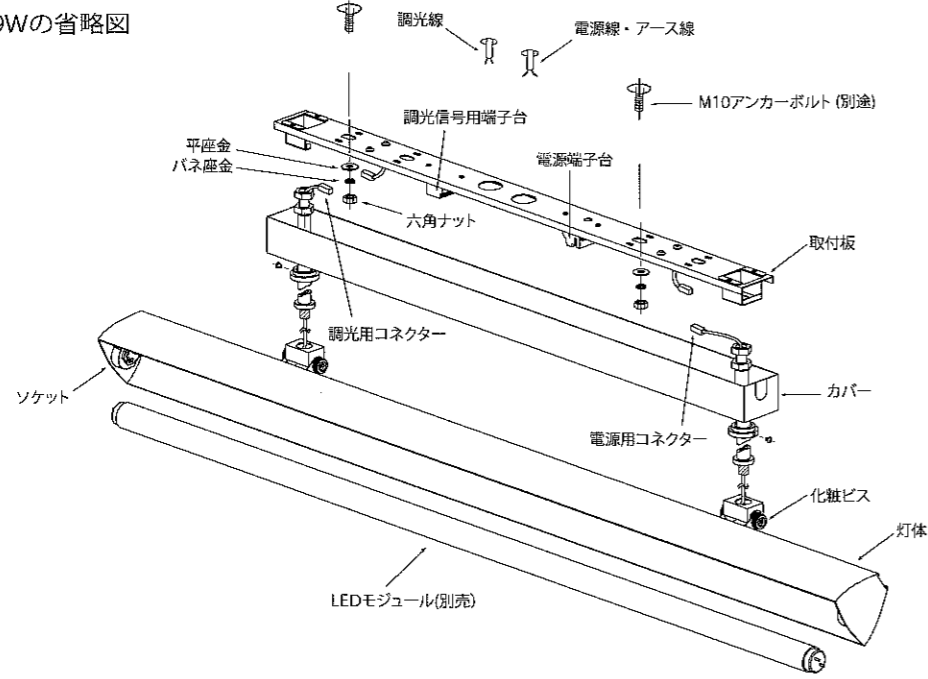


◆各部の名称

■ ERK8829Wの省略図



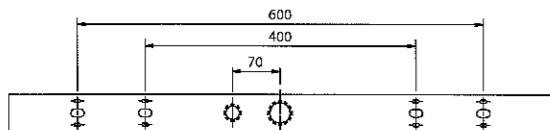
この図は一部省略抽象した共通部品図です

◆仕様

ランプ色	モジュール型番	色温度	灯数	定格電圧	周波数	入力電圧	入力電流	消費電力
昼白色タイプ	RA-625N	5000K	1	AC100~242V	50Hz/60Hz	100V	308mA	30.2W
ナチュラルホワイトタイプ	RA-625W	4000K				200V	164mA	29.8W
						242V	142mA	

- △ 3年以上お使いいただいた器具は、安全のため器具・コードなど1年ごとに点検をし、異常があれば交換してください。
- △ LEDモジュール交換の時は、必ず電源を切ってください。感電の原因になります。

◆取付寸法



◆適合信号制御器(別売)の接続台数

ライトコントローラ (PWM信号制御)	定格電圧	接続台数(※)	調光範囲
X-239W	100V	35台(50台)	10~100%
X-240W	200V	39台(50台)	

※()内は信号供給のみの接続台数です。
・自動調光制御システム(レズ・セーバー)をご使用の場合はRX-121W, RX-122Wの取扱説明書を参照ください。

◆LED光源について

・LED素子は白熱灯・蛍光灯などの一般光源に比べバラツキがあるため発光色、明るさが異なる場合がありますのでご了承ください。

■清掃方法について

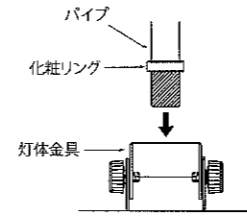
△ 注意 必ず電源を切ってください。感電の原因となります。

- 中性洗剤をつけ、よく絞ってから拭きとり、乾いた布で仕上げてください。
- シンナーやベンジンなど揮発性のもの拭いたり、殺虫剤をかけたりしないでください。

●電源工が必要な場合は、電気工事店に依頼してください。

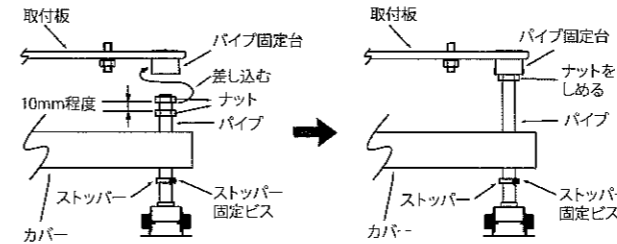
アフターサービスおよび転居や他の地域へのご贈答の場合は、お買上げの販売店が、最寄営業所へお問い合わせください。

- ② 灯体金具にパイプを差し込んでください。化粧リングで固定してください。



△ 取付けが不十分な場合、器具落下の原因となります。

- ③ パイプをカバーに通してください。ストッパー、カバーの順でパイプに差し込んでください。

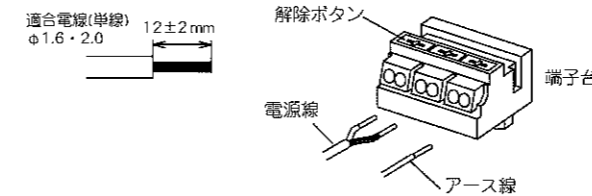


- ④ パイプ固定台にパイプをナットで挟み込むように差し込み固定してください。ナットとナットの間は10mm程度あけてください。電源用コネクタと調光用コネクタの位置に注意してください。

△ 取付けが不十分な場合、器具落下の原因となります。

- 3. 電源線・アース線を電源端子台に接続してください。

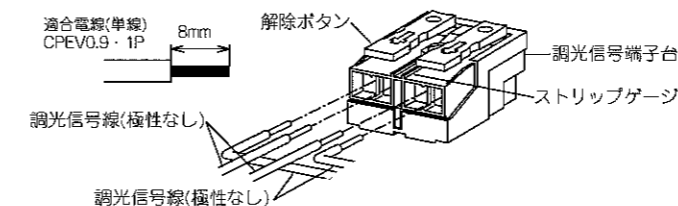
- 電源はストリップゲージ長12±2mmにむいてください。
- 電線を奥までまっすぐ確実に差し込んでください。
- 送り容量15A以下。
- D種(第3種)接地工事を行ってください。必ず端子台のアースを使用してください。



- △ 電源線は解除ボタンを押さずに引き抜かないでください。接点金具が変形し、焼損・漏電・感電・不点灯の原因となります。
- △ 接続不完全や容量オーバーの場合、火災・感電・器具故障の原因となります。
- △ 電気設備技術基準で定められたD種接地工事を必ず行ってください。火災・感電の原因となります。

- 4. 信号制御器(別売)で調光する場合は、調光信号線(推奨信号線 CPEV0.9・1P)を調光信号用端子台に接続してください。

- 調光信号線はストリップゲージ長8mmにむいてください。
- 調光信号線を奥までまっすぐ確実に差し込んでください。
- 使用する信号制御器の最大接続台数以下で接続してください。



- 信号制御器は当社指定の商品をご使用ください。
- 信号制御器に付属の取扱説明書をご参照ください。

△ 接続不完全や容量オーバーの場合、火災・感電・器具故障の原因となります。

■ ERK8828Wの場合、

- ① カバーについている電源用端子台、調光用端子台に結線してください。(3,4を参照してください)

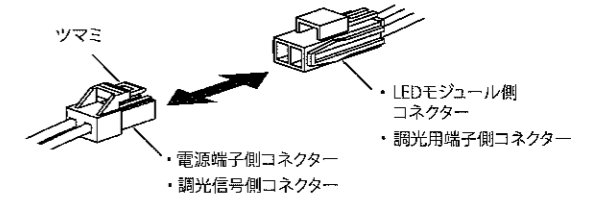
△ 接続不完全の場合、火災・漏電の原因となります。

- ② カバーを化粧ナットで取付けてください。

△ 取付部の強度が不十分な場合、器具落下の原因となります。

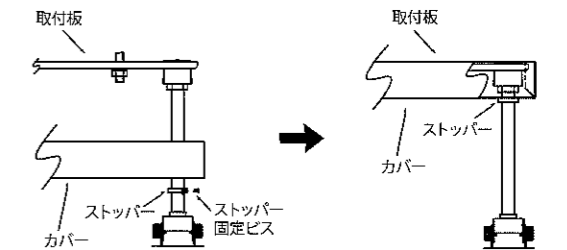
■ ERK8829Wの場合、

- ① ツマミを押しながら、コネクタを確実に差し込み接続してください。電源端子側と調光端子側は逆になります。

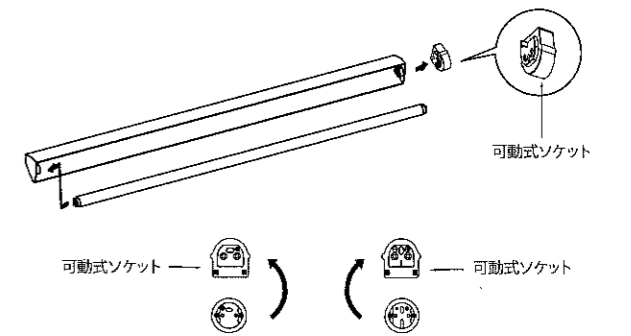


△ 接続不完全の場合、火災・漏電の原因となります。

- ② カバーをストッパーとストッパー固定ビスで取付けてください。



- 5. LEDモジュールをソケットに確実に取付けてください。可動式ソケット側にLEDモジュールを差し込んでから、固定式ソケット側、給電側に差し込んでください。



△ 接続不完全や取付け方向が反対の場合、火災・感電・器具故障の原因となります。

△ LEDモジュールがしっかり固定されているか確認してください。落下の原因となります。

- LEDモジュール付属のLED専用器具シールを反射板に貼付してください。
- LEDモジュールに貼付されているシールを1枚はがし、シールに描かれている矢印の方向を給電側ソケット側に合わせて反射板に貼付してください。

